

65 TWILIGHT CONCERT

ロイスダール弦楽四重奏団～オランダの名門カルテットを迎えて

入場無料

2015年3月11日(水)

開演18:30(開場18:00) 終演19:30

三井住友銀行本店ビルディング 1階メインエントランスホール
千代田区丸の内1-1-2 (地下鉄 大手町駅下車 C13a出口)



過去の公演

- 2013.11.13 52 チェロの夕べ—原田禎夫(チェロ) & 加藤洋之(ピアノ)
2013.12.19 53 クリスマス・コンサート—馬原裕子(ソプラノ) & 土崎譲(テノール)
2014.01.27 54 ピアノ三重奏の夕べ—長原幸太、奥泉貴圭、内門卓也
2014.02.24 55 合唱の魅力 vol.5 ~東京オペラシンガーズ
2014.03.12 56 フルートの夕べ~上野由恵(フルート) & 石橋尚子(ピアノ)
2014.04.24 57 ピアノの夕べ~三浦友理枝
2014.05.26 58 マリンバの魅力~大熊理津子(マリンバ) & 藤岡弘子(ピアノ)
2014.06.20 59 華麗なるトランペットの響き~多田将太郎(トランペット) & 鈴木啓太(ピアノ)
2014.10.17 60 ピアノ・トリオの調べ
~佐久間聡一(ヴァイオリン)、玉川 克(チェロ)、桑生美千佳(ピアノ)
2014.11.17 61 N響アカデミーの室内楽~N響団員とともに
2014.12.18 62 クリスマス・コンサート~佐藤路子(ソプラノ) & 景山梨乃(ハーブ)
2015.01.16 63 ロシアン・ナイト~奥泉貴圭(チェロ) & 加藤洋之(ピアノ)
2015.02.24 64 プラームスの夕べ~川本嘉子(ヴィオラ) & 三船優子(ピアノ)

主催

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ)
<http://www.ijj.ad.jp/>



インターネット黎明期の1992年、日本でインターネットを普及させるといった構想を持った技術者が集まり、IIJは設立されました。誰もが安心して使える社会基盤としてインターネットが発展するよう、IIJは卓越した技術力で、現在も技術開発を先導しています。

協賛

株式会社三井住友銀行 東京営業部
<http://www.smbc.co.jp/>



制作協力

東京・春・音楽祭実行委員会
<http://www.tokyo-harusai.com/>



連絡先

三井住友銀行 本店営業部・東京営業部
山本・大崎 03-4333-9130

演奏

20年近い演奏歴を誇るオランダの名門カルテット

—— ロイスダール弦楽四重奏団。

カルテットならではの濃密な演奏は、室内楽の醍醐味そのものです。

曲目

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第13番 変口長調 op.130
～第5楽章：カヴァティーナ

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第4番 八短調 op.18-4

ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲 第12番 へ長調 op.96 「アメリカ」

TWILIGHT CONCERT について

コンサートホールから 大手町オフィス街へ「音楽のおくりもの」

大手町の三井住友銀行ロビーで、2008年より毎月1回「ゆうべの音楽」をテーマにしたコンサートをお届けしています。仕事のあと、あわただしかった一日のおわりに、心地よい音楽で心の充電をしませんか。CD やテレビでは味わえない、生の演奏の素晴らしさを感じてください。

ロイスダール弦楽四重奏団

印象的な風景と空の描写で有名なオランダの画家、ヤーコブ・ファン・ロイスダールにインスパイアされた力強い演奏と、ニュアンスに富んだ音の色彩を特徴とするロイスダール弦楽四重奏団は、1996年に当時ハーグ音楽院で学んでいたメンバーで結成された。アマデウス弦楽四重奏団やアルバン・ベルク弦楽四重奏団など著名なカルテットに師事し、わずか数年のうちにオランダ国内外でよく知られるようになった。以来、各地の音楽祭やマスタークラスに招聘され、欧州やアメリカ合衆国を中心に演奏活動を行っている。チャールズ・ヘネン国際室内楽コンクールの優勝を含め数々の受賞歴があり、現代楽曲の演奏にも積極的に取り組んでいる。ラファエル・ウォールフィッシュ、ガブリエル・リブキン、ドミトリー・フェルシュトマン、イゴール・ロマ、ヨハネッテ・ゾマーといった著名なゲスト演奏家とも頻繁に共演している。

エミ・オオイ・レズニック（ヴァイオリン）

NY生まれ。15歳のときにカーネギーホールでデビューを飾り、以降、アメリカ、ヨーロッパ、日本で演奏活動を続ける。成熟と繊細さを兼ね備えた表現は、世界の各地で高く評価されている。これまでにソリスト、管弦楽団員として、世界の著名な演奏家と共演している。現代作品の演奏も積極的に行い、彼女のために作曲された作品も多い。元オランダ放送室内シンフォニーのコンサートマスター。

ヨーリス・ファン・レイン（ヴァイオリン）

ハーグ音楽院を成績優秀で修了後、NYのジュリアード音楽院にてグレン・ティクタローとロバート・マンに師事。2002年よりオランダ放送フィルハーモニー管弦楽団とオランダ放送室内フィルハーモニーの第一コンサートマスターを務めたほか、オランダの主要なオーケストラのコンサートマスターおよびソリストとして定期的に演奏している。

ハイス・クラームス（ヴィオラ）

ハーグ音楽院、ハノーファー音楽大学などで学ぶ。編曲、作曲、指揮にも意欲的に取り組んでおり、リッチョッティ・アンサンブルの芸術監督を務める。ソリストとしてもバルトークやヘンケマンズのヴィオラ協奏曲のほかジョン・ケージなどの前衛楽曲の演奏の実績も豊富。ロンドンのフィルハーモニア管弦楽団に所属。

イェルン・デン・ヘルダー（チェロ）

アムステルダム音楽院で学んだのち、チェロ・アンサンブルとして世界的に有名なセロ・オクテット・コンフント・イベリコ的首席演奏者を務めた。1992年のポストバンク・スエーリンク・コンクール優勝をはじめ、数々の受賞歴がある。世界的に著名な演奏家と精力的に活動を行っており、今までに25カ国以上でコンサートを開いている。アムステルダムおよびロッテルダム音楽院のチェロ教授。